News Release



中国地域の経済動向

(2025年9月の指標を中心に)

~持ち直しの動きの中で一部弱含んでいる~

2025年11月20日

(本発表資料のお問合せ先)

総務企画部企画調査課長 中野 伸二

電話: 082-224-5633

メール: bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

~判断の推移~

	2025年10月(8月指標中心)	2025年11月(9月指標中心)
基調判断	持ち直しの動きの中で一部弱含んでいる	\Rightarrow
1. 生産動向	弱含みで推移	\Rightarrow
2. 個人消費	持ち直しの動きに足踏み感がみられる	\Rightarrow
3. 雇用	有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は 前年同月比で減少	\Rightarrow
4. 景況感	現状は前月に比べ上昇、先行きは低下	現状、先行きともに前月に比べ上昇
5. 貿易	輸出、輸入ともに前年同月比で減少	\Rightarrow
6. 建設動向	公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少	公共工事は前年同月比で増加、住宅建設は前年 同月比で減少
7. 企業倒産	件数は前年同月比で増加、負債総額は前年同月 比で減少	件数、負債総額とも前年同月比で減少
8. 設備投資	2025年度計画は前年度を上回る見込み	\Rightarrow

1. 生産動向 ~弱含みで推移~

2025年9月の鉱工業生産指数は 99.6、前月比 1.9% の上昇となった(2020年=100、季節調整済)。 出荷は上昇、在庫は上昇、在庫率は低下となった。 生産を業種別にみると、生産用機械工業、化学工業 (除. 医薬品)、金属製品工業などが上昇し、電子 部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業、自動車 (乗用車・トラック・主要部品)などが低下した。

【主要業種の動向】

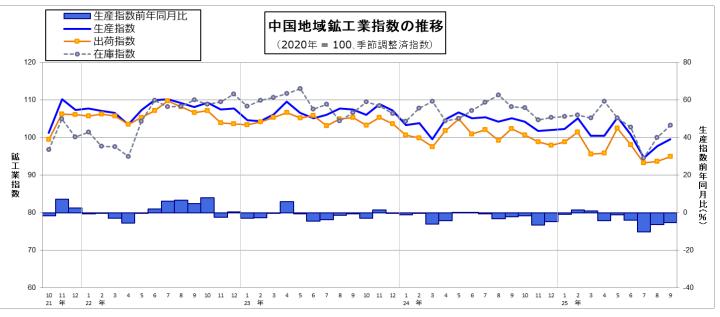
自動車(乗用車・トラック・主要部品)は、一部車 種のモデルチェンジに伴い低い水準で推移。

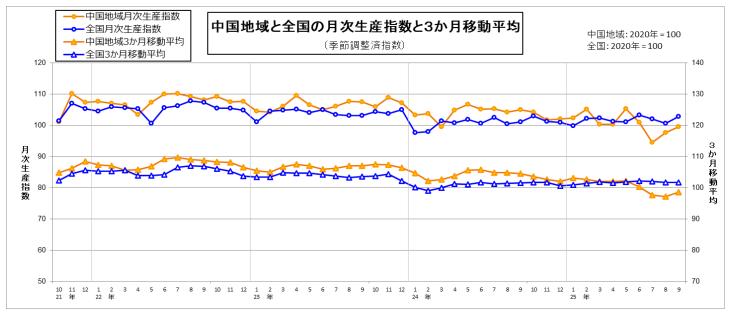
化学工業(除. 医薬品)は、定期修理明けの影響が継続し上昇傾向で推移。

生産用機械工業は、旺盛なAI需要によりアジア向け輸出が好調な半導体製造装置の影響などにより高い水準で推移。

詳細データはこちらから







2. 個人消費 ~持ち直しの動きに足踏み感がみられる~

2025年9月の商業6業態の販売額は2,117億円で、前年同月比1.8%と11か月連続で前年を上回った。

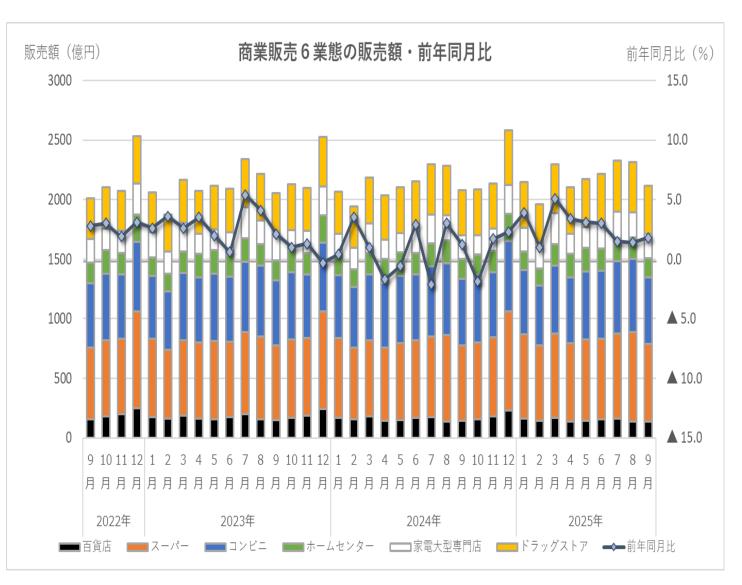
(百万円)		(全店舗、

		(口/3/3/			(土/口山) /
	6業態における構成比	販売額	前年同月比		前月の 前年同月比
6業態		211,699	1.8	11か月連続プラス	1.4
百貨店	6.6%	13,944	▲ 3.7	2か月ぶりにマイナス	0.0
スーパー	30.8%	65,135	3.2	11か月連続プラス	3.4
コンビニエンスストア	26.3%	55,676	▲ 0.0	7か月ぶりにマイナス	1.6
ホームセンター	7.6%	16,076	▲ 4.5	2か月連続マイナス	▲ 5.3
家電大型専門店	9.6%	20,387	2.1	2か月連続プラス	1.8
ドラッグストア	19.1%	40,481	7.0	45か月連続プラス	0.8

	店舗数	前年同月比	
百貨店	12	0.0 %	
スーパー	340	3.0 %	
コンビニエンスストア	3,043	▲ 0.4 %	
ホームセンター	403	0.0 %	
家電大型専門店	177	0.6 %	
ドラッグストア	1,067	2.8 %	

その他のデータはこちらから





(1)百貨店の状況

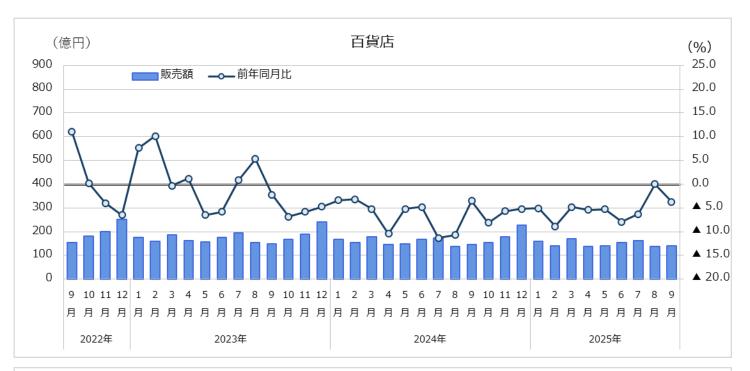
雨の日が多く客数が減少したほか、飲食料品は菓子が低調だった。また、後半から動きがみられたものの、残暑により秋物の衣料品の動きが鈍かった。そのほか、外出需要の低下で靴やハンドバッグが低調だった。一方、ラグジュアリーの身の回り品は好調だった。

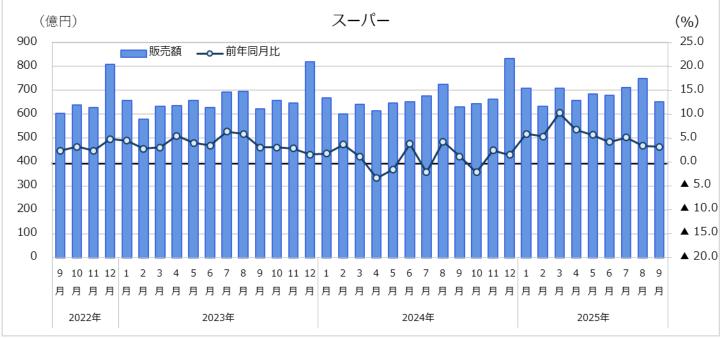
(2)スーパーの状況

新米の流通と価格上昇により米の売上が増加した。 また、寿司や刺身が好調だったほか、彼岸のおはぎや 花が好調だった。一方、前年よりは気温が低かったこ とで飲料、アイスが低調だった。また、衣料品は、夏 物を売り切るためにセールを行ったことで売上は減少 した。

詳細データはこちらから





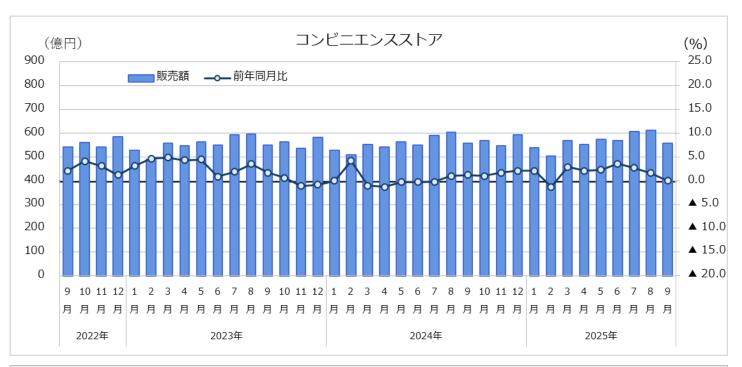


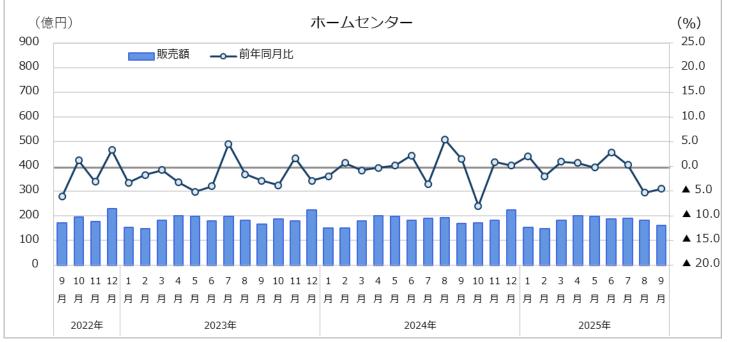
(3)コンビニエンスストアの状況

雨の日が多く客数が減少したほか、節約志向でデザートが低調だった。また、前年よりは気温が低かったことで飲料、アイスが低調だった一方、中華まんは好調だった。そのほか、販売促進効果でおにぎり、揚げ物が好調だった。

(4)ホームセンターの状況

前年の南海トラフ地震臨時情報の発表に伴う需要増の反動で、水、電池、工具・金物類が低調だった。 また、残暑により園芸用品や肥料が低調だった。一方、価格上昇により衣料用洗剤や米の売上が増加した。



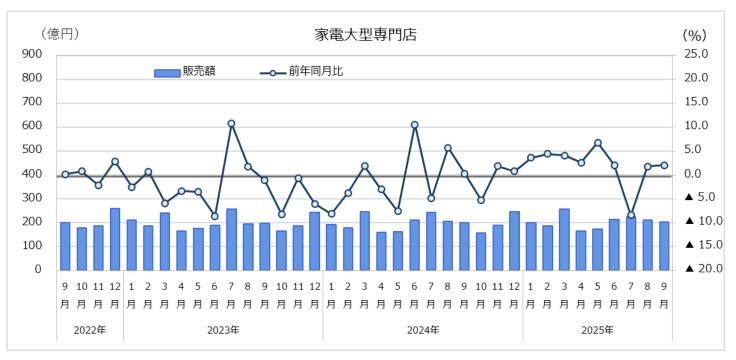


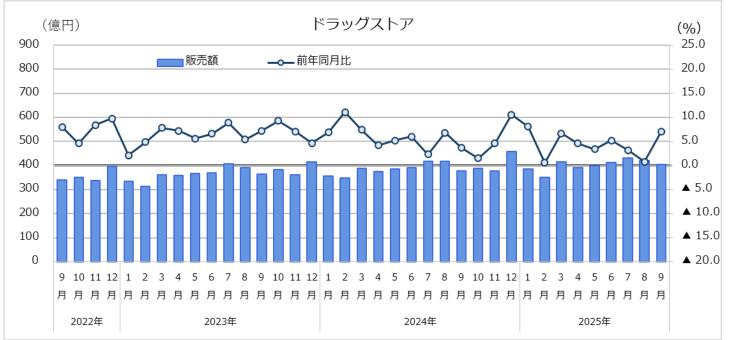
(5)家電大型専門店の状況

OSのサポート終了に伴う買い換え需要でパソコンが好調だったほか、残暑によりエアコンが好調だった。一方、引き続き冷蔵庫の動きが鈍かった。

(6)ドラッグストアの状況

価格上昇により米、衣料用洗剤の売上が増加したほか、風邪薬や殺虫剤が好調だった。また、開局した調剤薬局の認知度向上により、調剤医薬品が好調だった。そのほか、スキンケア商品が好調だった。





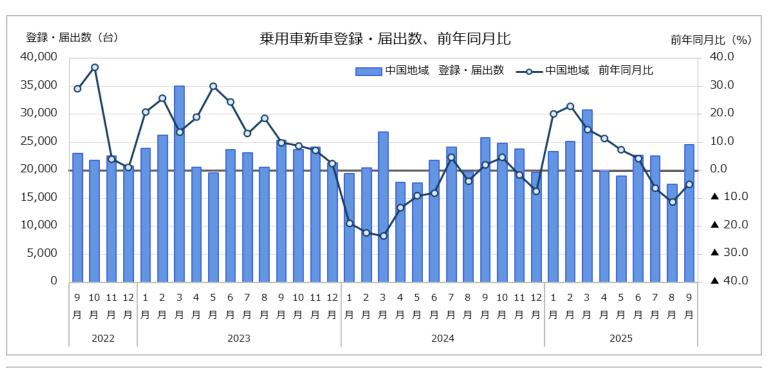
● 乗用車新車登録·届出数

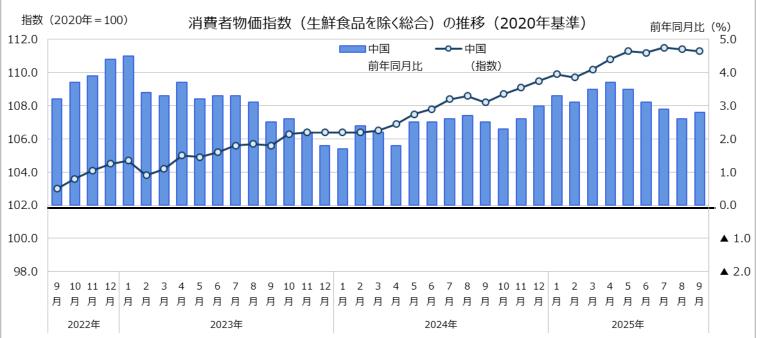
2025年9月の乗用車新車登録・届出数は、軽乗用車が前年同月を上回ったものの、普通乗用車、小型乗用車が前年同月を下回り、合計では前年同月比 ▲4.9%と3か月連続で前年を下回った。

(資料) 中国運輸局資料をもとに中国経済産業局作成

●消費者物価指数(中国地域)

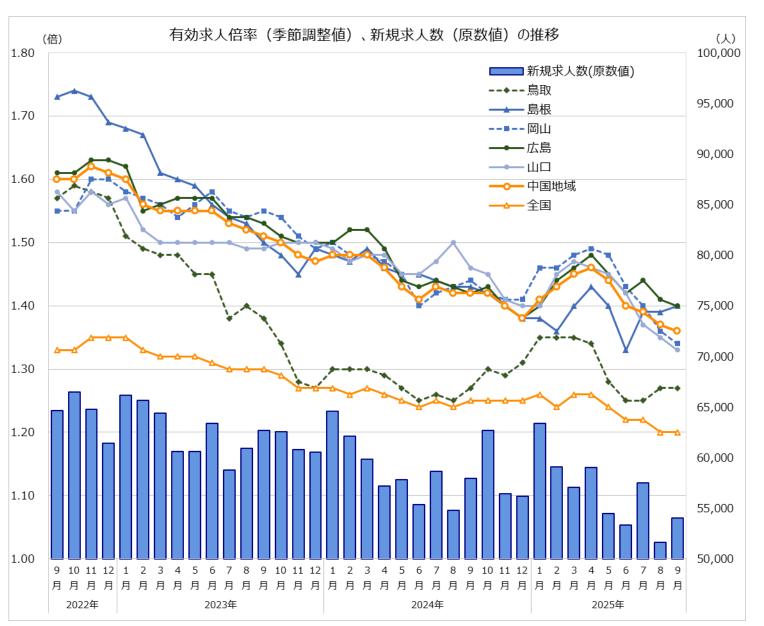
2025年9月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比2.8%の上昇となった。





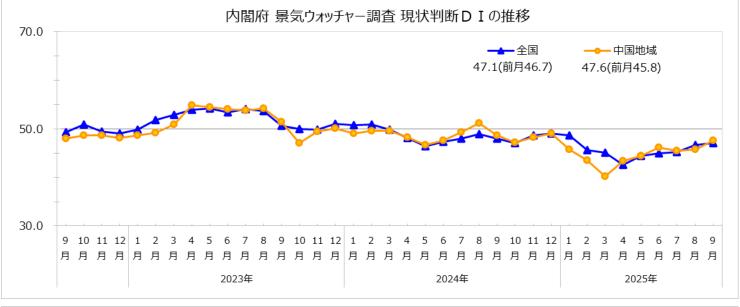
3. 雇用 ~有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前年同月比で減少~

2025年9月の有効求人倍率は、1.36倍で前月の値を 0.01ポイント下回り、5か月連続の低下となった。 また、新規求人数(原数値)は、前年同月比▲6.8% で5か月連続の減少となった。

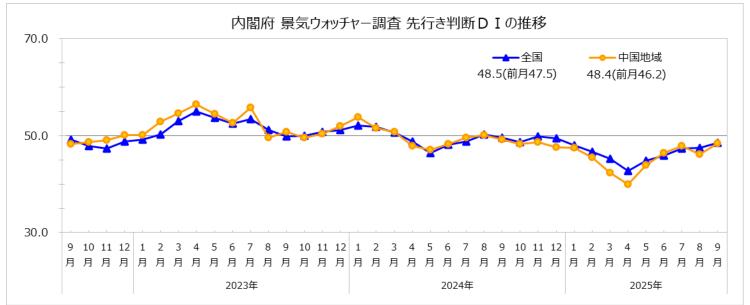


4. 景況感 ~現状、先行きともに前月に比べ上昇~

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和7年9月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断 D I (方向性)は47.6となり、前月差1.8ポイントの上昇となった。

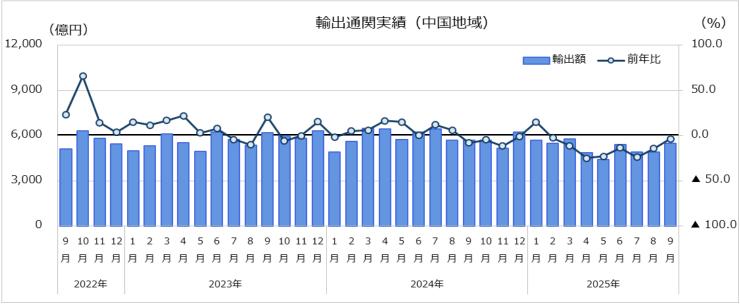


2~3か月先の景気の先行きに対する判断DIは48.4となり、同2.2ポイントの上昇となった。

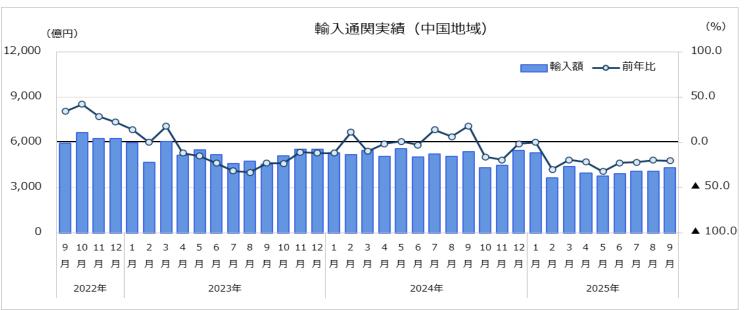


5. 貿易 ~輸出、輸入ともに前年同月比で減少~

2025年9月の輸出は、前年同月比▲3.5%と8か月連続で前年を下回った。品目別では、自動車、船舶などが前年を下回った。地域別では、中東、中南米向けなどが前年を下回った。



2025年9月の輸入は、前年同月比▲20.0%と8か月連続で前年を下回った。品目別では、金属鉱及びくず、石炭などが前年を下回った。

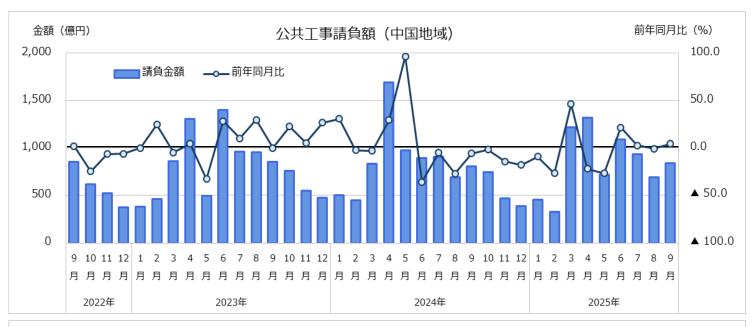


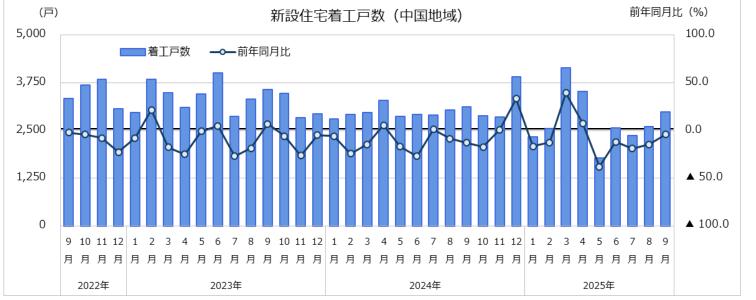
6. 建設動向 ~公共工事は前年同月比で増加、住宅建設は前年同月比で減少~

2025年9月の中国地域の公共工事請負金額は、国、 県、市町村で前年を下回ったものの、独立行政法 人等、その他公共的団体で前年を上回った。合計 では前年同月比4.4%と2か月ぶりに前年を上回っ た。

(資料) 西日本建設業保証(株)広島支店

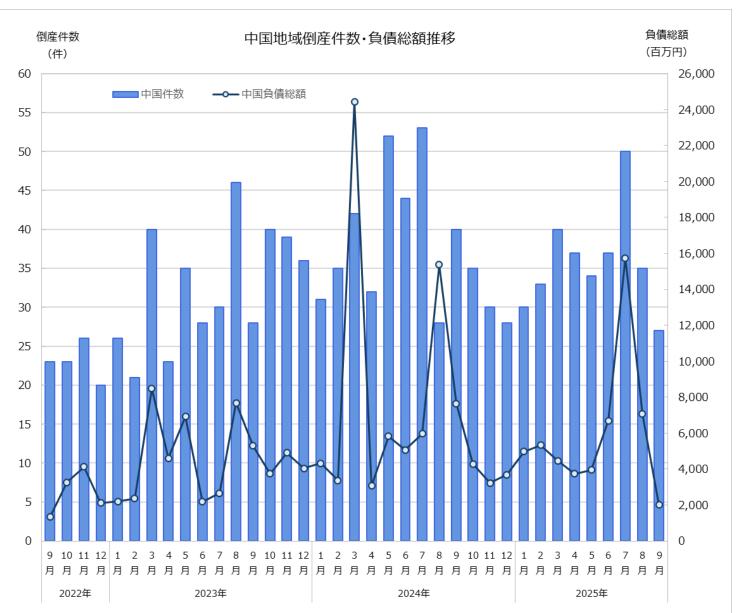
2025年9月の新設住宅着工戸数は、分譲住宅で前年を上回ったものの、持家、貸家、給与住宅で前年を下回った。合計では前年同月比▲4.0%と5か月連続で前年を下回った。





7. 企業倒産 ~件数、負債総額とも前年同月比で減少~

2025年9月の企業倒産件数は27件で、前年同月比 ▲32.50%と2か月ぶりに前年を下回った。 また、負債総額は20億700万円で、前年同月比 ▲73.74%と2か月連続で前年を下回った。 業種別にみると、建設業及びサービス業他が9件、 小売業及び運輸業が3件、製造業が2件などとなった。 原因別にみると、販売不振が20件、既往のシワ寄せ が3件、放漫経営及び過小資本が2件となった。



8. 設備投資 ~2025年度計画は前年度を上回る見込み~

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果 (2025年9月)によると、2025年度の設備投資計画(含む土地投資額) は、製造業が前年度比 27.0%、非製造業が同▲6.2%となり、全産業では同9.7%となっている。

(注)横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したもの。

